

活動プログラム展開案③<小学校>

「トラブルにならないようなきき方を練習しよう」

◆本時のねらい

- ・トラブルにならないような聴き方について考えて、練習することができる。

◆授業前の取り扱い

- ・ペアやグループをつくる場合は意図的な構成を行い、児童の心理的な負担をできる限り減らすように配慮する。
- ・本時の内容について配慮を要する児童がいる場合は、本時の活動の内容や流れを事前に知らせる。

◆展開(本時で使用する【スライド1】～【スライド18】は、展開案の後に示しています。

なお、スライド資料を使用せずに、その場でモデリングを行ったり板書したりすることも可能です。)

学習活動	教師の働き掛け(○) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点
1. 前時の学習について振り返る。 【3分】	<p>【スライド1】 ○前の時間は、怒りがトラブルやもめごとにつながることや、怒りのコントロールの仕方について学習しました。</p> <p>【スライド2】 ○でも実際には、怒りをコントロールすることが難しく、友達とトラブルになったりもめたりすることがあります。なぜ、このようなトラブルが起きるのでしょうか。 ・言い方が悪いから。 ・自分の言いたいことばかりを言って、相手の話を聴かないから。</p> <p>【スライド3】 ○互いに相手を大切にしたい聴き方や話し方をすることで、自分も相手も互いの気持ちを分かり合うことができ、トラブルになりにくいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・【スライド1】は、授業前に提示しておく。 ・県内小学校における児童同士のトラブルの中から、多いもの5つを紹介する。 ・トラブルが起きないようにするためには、積極的に相手の話を聴いたり相手を尊重しつつ自分の気持ちや考えを適切に伝えたりすることが必要であることを伝える。
2. 本時のめあてを知る。 【2分】	<p>【スライド4】 ○今日は、トラブルにならないような聴き方を練習します。</p>	
<p>【本時のめあて】 トラブルにならないようなきき方を練習しよう</p>		
3. モデリングを見て、聴き方のポイントを知る。 【10分】	<p>【スライド5】 ○これから、トラブルになりそうな場面で、どのような聴き方をしたらよいかについて学習します。Bさんの聴き方に注目して見ましょう。</p>	

【トラブルになりそうな場面①】

来週は新聞係が発表する順番です。Aさんはどのような内容にするかをBさんに相談しようとしています。

(1) モデリングを見る。

【スライド6】

○2つの聴き方を動画で見てください。どちらがトラブルにならないような聴き方か考えながら見ましょう。

【スライド7(動画)】

○まず、1つ目の聴き方です。

- ・モデリング動画を使用せずに、教師や児童でモデリングを行ってもよい。その場合は、事前に打合せや練習を行っておく。
- ・聴き方に注目させるために、「聴く役」は役割カードを首に掛けてモデリングを行い、聴き方の違いが明確になるように演じる。

モデリングⅠ 無関心な態度で聴く

(顔を見ないで聴く。話を最後まで聴かずに割り込む)

A：ねえ、私たち新聞係でクラスの3大ニュースを発表するの、確か来週だったよね。

B：うん。(本を見ながら、顔を見ないで答える)

A：今週中にどれを発表するか決めなきゃいけないから、今日の昼休みに集まろうよ。

B：う～ん。(また顔を見ないで答える)

A：昼休みになったらすぐ、教室の後ろに集合だよ。

B：(Aの話をさえぎるように、Aに本を見せながら話し始める)
ねえねえ、これ見て！すごいよね！

【スライド8(動画)】

○次に、2つ目の聴き方です。

モデリングⅡ 聴き方のポイントを使って落ち着いて聴く

(練習1シナリオ) (相手の顔を見て、うなずきや相づちを入れながら最後まで聴く)

A：ねえ、私たち新聞係でクラスの3大ニュースを発表するの、確か来週だったよね。

B：うん、そうだったね。(うなずきながら聴いて答える)

A：今週中にどれを発表するか決めなきゃいけないから、今日の昼休みに集まろうよ。

B：そうだね。そうしよう！(相づちを打ちながら聴いて答える)

A：昼休みになったらすぐ、教室の後ろに集合だよ。

(Aの話を最後まで聴いて答える)

B : OK ! 分かった。

(2) 聴き方のポイントを考える。

- どちらの聴き方が、トラブルにならないような聴き方だと思いますか。また、それはどのようなところから感じますか。
 - ・ 2回目の方が、顔を見て話しているからトラブルになりにくいと思う。
 - ・ 2回目の方が、うなずいたり相づちを打ったりしているから、相手を大切にしている。
 - ・ 2回目の方が、相手の言葉を最後まで聴いている。

【スライド9】

- 聴き方のポイントをまとめてみましょう。今日、皆さんに練習してほしい聴き方のポイントは4つあります。

【きき方のポイント】

- ① 相手の顔を見てきく
- ② うなずきながらきく
- ③ 相づちを打ちながらきく
- ④ 最後まできく

- ・ どのようなところが良かったか、気づきを出させながら、聴き方のポイントを押さえる。

- ・ それぞれのポイントについて具体的にどのようにすればよいのかを全体で確認する。

4. 聴き方のポイントに気を付けながら練習する。

【スライド10】

- これから練習をします。練習するときの約束を確認します。

- ・ はずかしがらない
- ・ 冷やかさない
- ・ よいところを見つける

- ・ 実際に行動できるようにするためには、約束を守って練習することが大切であることを伝える。

(1) 練習1
【10分】

【スライド11】

- 最初は、動画の2つ目の場面【モデリングⅡ】(練習1シナリオ)を演じてください。

- 4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて交代で練習します。

- 時計回りに役を交代しながら、全部の役を体験します。

- 「見守る役」の人は、「聴く役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。練習が終わった後で、できていたポイントや良かったところを「聴く役」の人に伝えてください。「話す役」と「聴く役」の人は、ワークシートを見てもよいです。

- ・ ワークシートと役割カード、ニコマークとニコニコマークのセットを配付する。
- ・ 役割の交代の仕方を提示する。「話す役」「聴く役」「見守る役」の役割カードを首に掛け、時計回りに役割を交代するようにする。
- ・ 「見守る役」は、「聴く役」が聴き方のポイントを使っていたかどうか目を見させる。その際、「見守る役」にニコマークとニコニコマーク

○終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。
練習の仕方は分かりましたか。

【スライド12】

- 練習をしましょう。
- 練習を振り返りましょう。トラブルにならないような聴き方ができましたか。ワークシートの1回目のところに丸を付けましょう。
- グループの練習で良かったところを紹介してください。先生が見付けた「聴き方名人」を紹介しなす。
- 次の練習で頑張りたいポイントを決めて、「がんばりたいポイント」のところに丸を付けましょう。また、ポイント以外でも工夫できそうなことを見付けたら、★印のところに新しいポイントとして書き加えましょう。できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントが上手に使えるようになったりするとよいですね。

のセットを持たせ、
ロールプレイが終わったらどちらかを出すように「見守る役」に指示しておく。

- ・ワークシートに記入させる。
- ・聴き方の良かった児童を数名紹介し、聴き方のポイントを再確認する。
- ・ポイント以外でも工夫している点を紹介し、新しいポイントとして挙げてよいことを知らせる。

(2) 練習 2
【15分】

【スライド13】

○次の練習をします。ワークシートの裏面を見てください。次は、聴き方のポイントを入れた台詞を、自分で考えてください。掃除の役割分担のことで、AさんがBさんに話し掛けている場面（練習2シナリオ）です。まず、ワークシートに台詞を書きましょう。

【スライド14】

【トラブルになりそうな場面②】

(練習2シナリオ)

【場面】 掃除のことで、AさんがBさんに話し掛けている場面

【役割】 A：話す役 B：聴く役

A：ねえ、今週から音楽室の掃除だよね。

B：

A：掃除が始まる前に、かぎを取りに行かなくちゃいけないね。

B：

A：休み時間を早めに終わって、かぎを取りに行こうね。

B：

<p>5. 本時の学習を振り返る。 【5分】</p>	<p>○ワークシートに台詞を書きましたか。</p> <p>○それでは、最初の練習と同じように4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」（2人）に分かれて練習します。</p> <p>○「見守る役」の人は、「聴く役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。後で、できていたポイントや良かったところを「聴く役」の人に伝えてください。</p> <p>○練習の仕方は分かりましたか。では、練習をしましょう。</p> <p>○練習を振り返りましょう。ワークシートの表面を見てください。トラブルにならないような聴き方ができましたか。ワークシートの2回目のところに丸を付けましょう。</p> <p>○グループの練習で良かったところを紹介してください。</p> <p>○先生が見つけた「聴き方名人」を紹介します。</p> <p>【スライド15】【スライド16】</p> <p>○今日の学習を振り返ります。ふりかえりシートに記入しましょう。</p> <p>【スライド17】</p> <p>○今日の学習の気付きや感想を發表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の聴き方が悪くてムカッとすることもあるので、4つのポイントに気を付けたい。 ・友達がうなずきながら話を聴いてくれたので、気持ちよかった。 ・今日学習したことを生かして、トラブルを減らしたい。 <p>【スライド18】</p> <p>○今日は、トラブルにならないような聴き方について学習しました。今日学習した聴き方のポイントを使って、トラブルにならないような聴き方ができるとよいですね。</p> <p>○次の時間は「トラブルにならないような話し方」について学習します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「見守る役」は「聴く役」が聴き方のポイントを使っていたかどうか目を見せさせる。1回目と同様に、ニコマークとニコニコマークのセットを使って行わせる。 ・ワークシートに記入させる。 ・聴き方の良かった児童を数名紹介し、聴き方のポイントを再確認する。 ・ふりかえりシートを配付する。 ・ふりかえりシートに記入したことをグループで発表し合った後に、全体の場で発表させる。 ・机間指導をしながら児童が書いている内容を確認して、発表する児童がいない場合は、それを紹介してもよい。 ・他の場面でも、活用できることを意識させる。 ・次時の学習について知らせる。
--------------------------------	--	--

◆評価の視点

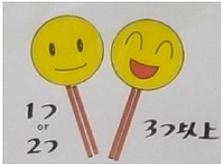
- ・トラブルにならないような聴き方について考えて、練習することができたか。

◆授業後の取り扱い

- ・児童の感想を朝の会や帰りの会、学級通信などで紹介する。
- ・学習したポイントを学級内に掲示し、折に触れて確認する。
- ・学級通信などで活動の内容を紹介し、家庭での様子を見守っていただくようにする。
- ・学年間で活動内容等を共有し、学校生活における児童の様子を観察する。

板書計画(3時目)

【めあて】トラブルにならないようなきき方を練習しよう

【図や表など】	【スキルのポイント】	【練習するときの約束】	【役割の進め方】	【練習シナリオ】
 <p>※導入のためのグラフや表、または前時の学習で使用した資料などを提示します。</p>	<p>① 相手の顔を見てきく ② うなずきながらきく ③ あいづちをうちながらきく ④ 最後まできく</p> <p>※ポイントは「・」や「①②③・・・」などで示します。それ以外に児童からヒントとなる意見が出された場合も、下方に板書しておきます。</p>	<p>・はずかしがらない ・冷やかさない ・よいところを見つける</p> <p>【相互評価の説明等】</p>  <p>※練習がスムーズに進められるように、役割の進め方を掲示したり相互評価のやり方の説明を板書したりします。</p>	<p>話す役 ↓ 聴く役 ↓ 見守る役① ↓ 見守る役②</p> 	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>※練習2のシナリオを提示しておき、台詞を考えさせたあとに児童から出された台詞を書き入れる際に使います。</p>

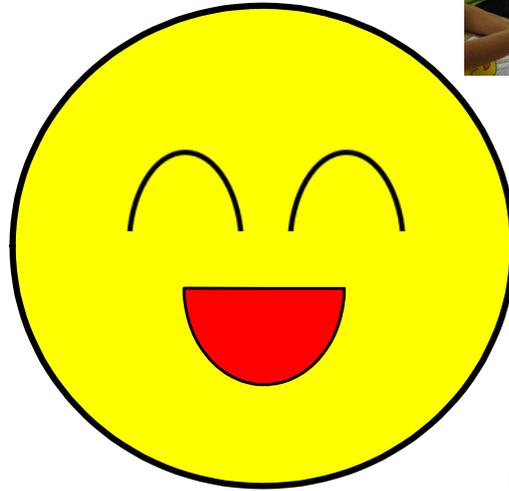
【ニコマーク&ニコニコマーク】

※原寸大

※それぞれの表情を2枚ずつ厚紙に印刷し、その間に割り箸を挟んで仕上げます。



ニコマーク

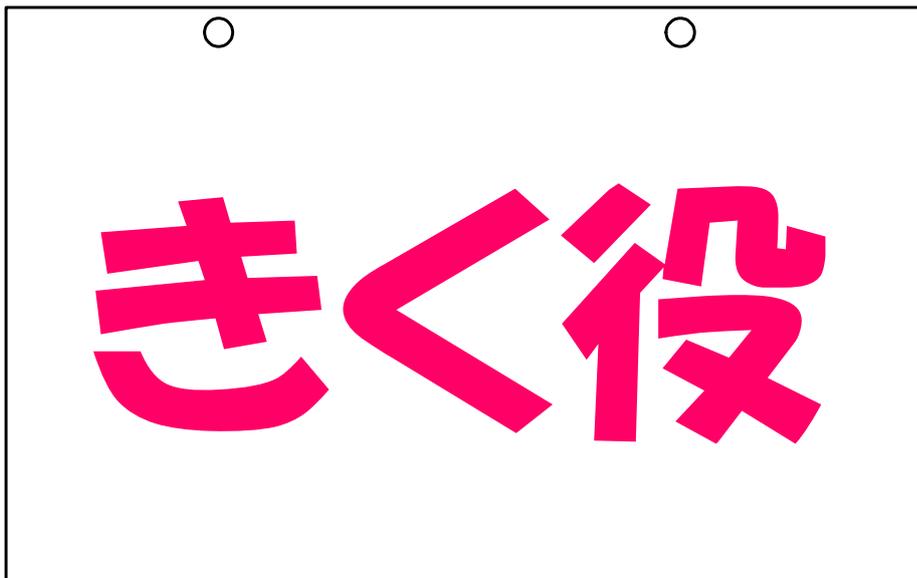


ニコニコマーク



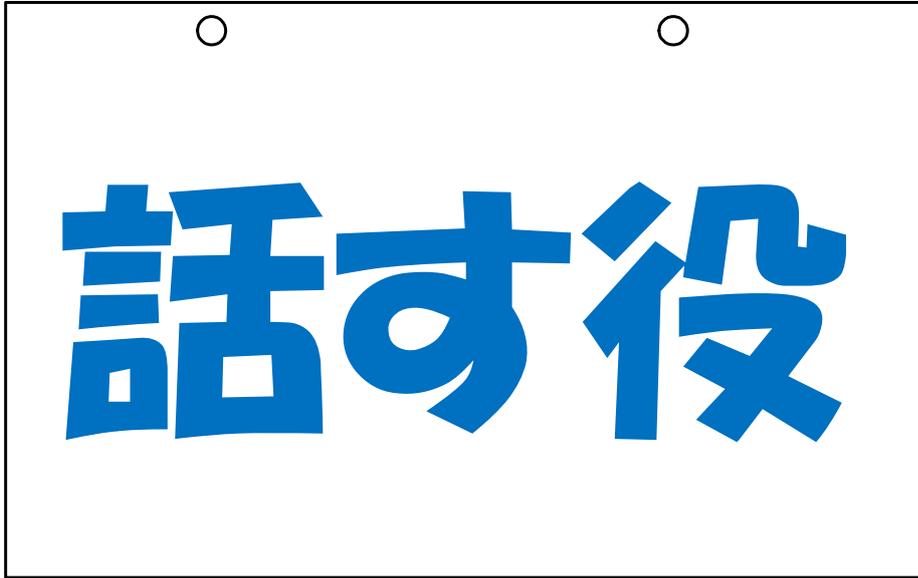
【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



【役割カード】

※厚紙に印刷し、2つの穴にひもを通して仕上げます。



本時で使用するスライドと、スライドを提示する際の教師用シナリオです。

【スライド1】

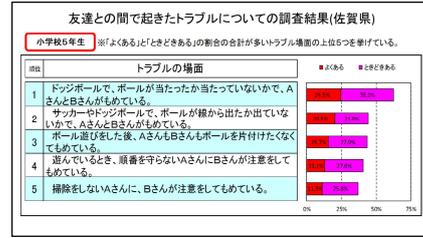
トラブルにならないために・・・



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

前の時間は、怒りがトラブルやもめごとにつながることや、怒りのコントロールの仕方について学習しました。

【スライド2】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

でも実際には、怒りをコントロールすることが難しく、友達とトラブルになったりもめたりすることがあります。

なぜ、このようなトラブルが起きるのでしょうか。

- ・言い方が悪いから。
- ・自分の言いたいことばかりを言って、相手の話を聴かないから。

【スライド3】

トラブルが起きないようにするには・・・

たがいに相手を大切にしたい
きき方や話し方をする



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

互いに相手を大切にしたい聞き方や話し方をすることで、自分も相手も互いの気持ちを分かり合うことができ、トラブルになりにくいと思います。

【スライド4】

トラブルにならないようなきき方を練習しよう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日は、トラブルにならないような聞き方を練習します。

【スライド5】

トラブルになりそうな場面①

【場面】

来週は新聞係が発表する順番です。
Aさんはどのような内容にするかを
Bさんに相談しようとしています。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これから、トラブルになりそうな場面で、どのような聴き方をしたらよいかについて学習します。

Bさんの聴き方に注目して見ましょう。

【スライド6】

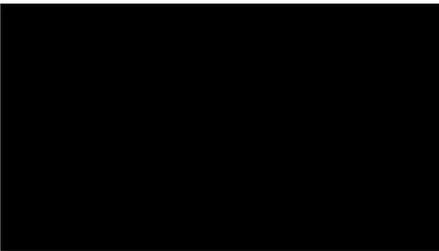
Bさん(きく役)のきき方に
気をつけて見ましょう

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

2つの聴き方を動画で見てください。

どちらがトラブルにならないような聴き方が考えながら見ましょう。

【スライド7(モデリングⅠ)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

まず、1つ目の聴き方です。

【スライド8(モデリングⅡ)】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

次に、2つ目の聴き方です。

どちらの聴き方が、トラブルにならない聴き方だと思いますか。
また、それはどのようなところから感じますか。

- ・2回目の方が、顔を見て話しているからトラブルになりにくいと思う。
- ・2回目の方が、うなずいたり相づちを打ったりしているから、相手を大切にしている。
- ・2回目の方が、相手の言葉を最後まで聴いている。

【スライド9】

【聞き方のポイント】

①相手の顔を見てきく

A: ねえ、私たち新聞係でクラスの3大ニュースを発表するの、確か来週だったよね。

B: うん。

②うなずきながらきく

A: 今週中にどれを発表するか決めなきゃいけないから、今日の昼休みに集まろうよ。

B: そうだね。そうしよう!

③相づちを打ちながらきく

A: 昼休みになったらすぐ、教室の後ろに集合だよ。

B: OK! 分かった。

④最後まできく

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印のとき、アニメーションを動かす)

聞き方のポイントをまとめてみましょう。

今日、皆さんに練習してほしい聞き方のポイントは4つあります。

- まず全体を通して、「相手の顔を見て聴く」ことは大切ですね。これが1つ目です。
- 2つ目は、Aさんが話していることに対して、「うなずきながらきく」ということです。
- 3つ目は、Aさんが提案していることに対して、「相づちを打ちながらきく」ことです。
- 4つ目は、「最後まで(しっかりと)きく」ことです。

【スライド10】

【練習するときの約束】

- ・はずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・よいところを見つける

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

これから練習をします。練習するときの約束を確認します。

- ・はずかしがらない
- ・冷やかさない
- ・よいところを見付ける

【スライド11】

【練習の仕方】

「きく役」の人を見て、ポイントができていますかチェックします。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

(●印の時、アニメーションを動かす)

最初は、動画の2つ目の場面【モデリングⅡ】(練習1シナリオ)を演じてください。

4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて交代で練習します。

●時計回りに役を交代しながら、全部の役を体験します。

「見守る役」の人は、「聴く役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1~2つできていたらニコマークを、3~4つできていたらニコニコマークを出してください。

練習が終わった後で、できていたポイントや良かったところを「聴く役」の人に伝えてください。

「話す役」と「聴く役」の人は、ワークシートを見てもよいです。

終わった後は役割カードを外して、拍手をして席に着きましょう。練習の仕方は分かりましたか。

【スライド12】

【練習1シナリオ】 Aさん:話す役 Bさん:きく役

A: ねえ、私たち新聞係でクラスの3大ニュースを発表するの、確か来週だったよね。

B: うん。

A: 今週中にどれを発表するか決めなきゃいけないから、今日の昼休みに集まろうよ。

B: そうだね。そうしよう!

A: 昼休みになったらすぐ、教室の後ろに集合だよ。

B: OK! 分かった。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

練習をしましょう。

(終了後)

練習を振り返りましょう。トラブルにならないような聴き方ができましたか。ワークシートの「1回目」のところに丸を付けましょう。

グループの練習で良かったところを紹介してください。先生が見つけた「聴き方名人」を紹介します。

次の練習で頑張りたいポイントを決めて、「がんばりたいポイント」のところに丸を付けましょう。

ポイント以外でも工夫できそうなことを見つけたら、★印のところに新しいポイントとして書き加えましょう。

できるポイントが増えたり、頑張りたいポイントが上手に使えるようになったりするとよいですね。

【スライド13】

トラブルになりそうな場面②

【場面】

そうじのことで、AさんがBさんに話しかけています。

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

次の練習をします。ワークシートの裏面を見てください。

次は、聴き方のポイントを入れた台詞を、自分で考えてください。

掃除の役割分担のことで、AさんがBさんに話し掛けている場面（練習2シナリオ）です。

まず、ワークシートに台詞を書きましょう。

【スライド14】

練習2シナリオのせりふを考えて練習をしましょう

Aさん…話す役 Bさん…きく役

①相手の顔を見てさく

A: ねえ、今週から音楽室のそうじだよ。

B: ②うなずきながらさく

A: そうじが始まる前に、かぎを取りに行かなくちゃいけないね。

B: ③相づちを打ちながらさく

A: 休み時間を早めに終わって、かぎを取りに行こうね。

B: ④Aさんの話を最後まできいてから

【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

ワークシートに台詞を書きましたか。

それでは、最初の練習と同じように4人グループになり、「話す役」と「聴く役」、「見守る役」(2人)に分かれて練習します。

「見守る役」の人は、「聴く役」の人をよく見て、4つのポイントのうち、1～2つできていたらニコマークを、3～4つできていたらニコニコマークを出してください。

後で、できていたポイントや良かったところを「聴く役」の人に伝えてください。

練習の仕方は分かりましたか。では、練習をしましょう。

練習を振り返りましょう。ワークシートの表面(ひょうめん)を見てください。

トラブルにならないような聴き方ができましたか。

ワークシートの「2回目」のところに丸を付けましょう。

グループの練習で良かったところを紹介してください。

先生が見つけた「聴き方名人」を紹介します。

【スライド15】

今日学習したことをふりかえりましょう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習を振り返ります。

【スライド16】

ふりかえりシートに記入しましょう



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

ふりかえりシートに記入しましょう。

【スライド17】

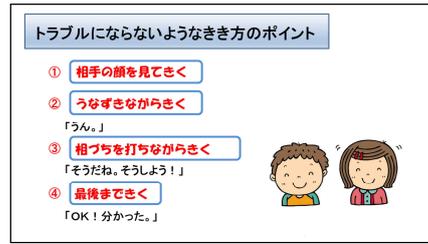


【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日の学習の気づきや感想を発表しましょう。

- ・友達の聴き方が悪くてムカッとすることもあるので、4つのポイントに気を付けたい。
- ・友達がうなずきながら話を聴いてくれたので、気持ちよかった。
- ・今日学習したことを生かして、トラブルを減らしたい。

【スライド18】



【このスライドを提示する際の教師用シナリオ】

今日はトラブルにならないような聴き方について学習しました。

今日学習した聴き方のポイントを使って、トラブルにならないような聴き方ができるとよいですね。

次の時間は「トラブルにならないような話し方」について学習します。